

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業

政策名	安全		責任者	建設部担当課長(運河河川管理担当)
施策名	港の安全性・信頼性の向上			
事務事業名	堀川口のポンプ施設・防潮水門及び港内の防潮扉等の管理・運用		連絡先	052-698-3680
目的	対象(誰・何を)	ポンプ施設・防潮扉等		事業期間
	意図(どういう状態にしたいか)	適正に管理し、災害に備え常に異常なく稼働します。		
概要	堀川口の防潮水門・ポンプ施設および港内の防潮扉等について保守点検を行い、不良箇所を発見した場合は緊急に応じた補修を実施します。		根拠法令等	海岸法第14条の5 堀川口防潮水門操作要綱第15条
活動内容	異常が確認された、または老朽化した設備については、自らまたは外部委託にて補修を行い、災害時に異常なく稼働するようにします。		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	28年度	29年度	30年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	400,438	470,970	397,222	422,877	堀川口防潮水門の油圧ユニット、油圧シリンダ工事(平成25~29年度実施)が終了した事による減額
人件費	千円	78,309	80,688	80,943	79,980	
合計	千円	478,747	551,658	478,165	502,857	

3 CHECK(検証)

指標名		28年度	29年度	30年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因	
災害時の施設の故障発生件数(件) (単年度管理型)	目標	0	0	0	0	稼働施設の災害時の故障発生件数(年間)を指標とします。		
	実績	0	0	0				
事業進捗状況(30年度)				<input type="checkbox"/> 目標値を上回る <input type="checkbox"/> 目標値をやや下回る	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおり <input type="checkbox"/> 目標値を下回る			
施設の年間試運転の回数(回) (単年度管理型)	目標	222	222	222	222	稼働施設(ポンプ、水門、防潮扉(締切状態の扉を除く))の年間総試運転回数を指標とします。電動化防潮扉の試運転回数が増加しています。		
	実績	222	222	235				
事業進捗状況(30年度)				<input checked="" type="checkbox"/> 目標値を上回る <input type="checkbox"/> 目標値をやや下回る	<input type="checkbox"/> 目標値どおり <input type="checkbox"/> 目標値を下回る			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	堀川口防潮水門・ポンプ所・防潮扉について、直営及び委託による試運転、点検修理及び委託による定期点検、計画的な維持修繕を実施し、災害時に異常なく稼働しました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○					海岸管理者として、災害発生時に被害が生じることを防ぐため、必要な事業です。	
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○					災害に備え、海岸保全施設としての機能維持ができ、災害時に異常なく稼働しています。	
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○					計画的な維持修繕を実施する事で効率的な事業を実施しています。	

4 ACTION(取組)

課題	令和元年度以降の取組
施設の経年劣化に対応した適正な維持管理が要求されます。	災害発生を防止するため、効率的かつ適正な維持管理を図っていきます。